

冷水浴びせて厄払い

菅福地区で伝統行事「ほとほと」

その年に厄年を迎えた人の厄を払う伝統行事「ほとほと」が、2月8日、菅福地区で行われまして。



家人から冷水を浴びせられ、急いで退散する「ほとほと」役の若者たち

今年と同地区の3軒の家を訪問。外も暗くなつた午後6時半過ぎ、みのとかさをつけた若者が、神様が扉をたたき音「ほとほと」と言いながらわらで作つたしめ縄や馬を入れたかごを届けました。

縁側に用意されたお酒やご祝儀を、若者が代わりに持ち帰るつとすると、家人が勢いよく冷水を浴びせ1年の幸福を願いました。

今年60歳を迎える西村美恵子さん（福長）は「健康で景気の良い年になつてほしいです」と話していました。

「ほとほと」は厄年を迎えた人の家に厄よけの品物を持って訪問。お礼の品を受け取つて帰る時に厄がつかないように水をかけて、厄払いをする行事で、地域の伝統行事を伝えていこうと、昨年、25年ぶりに復活しました。

復活を呼びかけた西村文作さんは「地域の良き伝統を次代に伝えていきたい」と話していました。



「お疲れ様」冷え切つた体を温泉で温める関係者ら

開かれました。

用意された料理や酒を囲み、「良き伝統を掘り起こし、若者に伝えていきたい」「これからは、地域が元氣を出して情報発信をしなくては」などと、

これからの地域活動や昔話、趣味の話などについて熱心に語り合い、盛り上がりつつありました。

もみじ温泉は、安部武男さん（福長）が経営する急斜地、災害復旧などの法面保護に用いる型枠を生産する株式会社フレクシオンフリューム福長工場の建設地で、ボーリング中にゆう出しました。

行事が終わって 楽しい懇親会

厄払い行事「ほとほと」が無事終わった後、冷水を浴びせられたほとほと役や関係者たちは、もみじ温泉（日野町福長、安部武男さん所有）に入浴し、冷え切つた体を温めました。

その後、厄を迎えた人や地域の人たち関係者ら約40人が参加し、同会場で、慰労会が

温泉は、同会社員の保養や近所の人たちに利用されたりしています。

温泉は、同会社員の保養や近所の人たちに利用されたりしています。